

ウイルス肝炎(B型)

ウイルス肝炎にはA・B・C・D・E型があります。この内、A・E型は食物により、B・C・D型は主に血液を介して感染します。この中から今月はB型、来月はC型についてお話しします。

1. はじめに

肝臓には、胆汁合成・糖質貯蔵・殺菌・蛋白質合成・解毒等の働きがあります。ウイルス肝炎になると、感染した肝細胞が破壊され、全身に害をもたらします。しかし、肝臓は再生能力が高いため、健康な状態に戻る事もできます。

2. 感染経路

感染者の血液を介して感染します。そのため、かつては“血清肝炎”と呼ばれていました。その他の感染経路としては、母子感染と性行為がありません。急性B型肝炎では性行為によるものが近年多くなっています。

3. 急性B型肝炎

成人がB型肝炎ウイルスに感染して起こります。70～80%は無症状で回復しますが、20～30%が急性肝炎となります。食欲不振・全身倦怠感・吐き気・嘔吐等で発症し、引き続いて黄疸が見られます。2～3ヶ月で治癒しますが、ごく一部の方は劇症肝炎となり死亡する事もあります。治癒後は免疫ができて二度とB型肝炎にはなりません。

4. キャリア(持続感染者)

肝炎ウイルスが身体から排除されずに住み着いてしまった方をキャリアと言います。新生児期や乳幼児期までに感染した方が殆どです。キャリアの90%は特に問題なく一生を終えますが、10%で慢性肝疾患(慢性肝炎・肝硬変・肝癌)を発症します。自覚症状がなくても定期的に検査を受けて健康管理に留意して下さい。また剃刀や歯ブラシの共用は避け、血液は自分で処理し、献血はしない事に留意すれば、周囲の方への感染は殆ど心配ありません。余り神経質になる必要はありません。なお母子感染予防策により、B型キャリアは減少しつつあります。

5. 予防

血液等の体液の処理の際は、手袋を着用し処理後には手洗いをして下さい。ワクチンがありますので、医療従事者には接種が勧められます。また日常生活(食器・入浴・握手など)では感染しませんので、過剰な心配は不要です。

御意見・御質問などは石巻保健所健康対策班までお願いします。 電話：0225-95-1430 FAX：0225-94-7104

もっと詳しく知りたい場合は、保健環境センターHP(<http://www.pref.miyagi.jp/hokans/>)を参照してください。